

令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立山崎高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主幹教諭(教務主任兼務)＝事務局長、生徒部主幹教諭（生徒部主任兼務）、進路指導主幹教諭（進路部主任兼務）、3学年主幹、2学年主幹、1学年主幹 計6名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画課室長、教務主幹教諭(教務主任兼務)、生徒指導主幹教諭(生徒部主任兼務)、進路指導主幹教諭（進路部主任兼務）、3学年主幹教諭、2学年主幹教諭、1学年主幹教諭 計9名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
町田市青少年健全育成忠生第五地区委員会会長、山崎高等学校同窓会副会長、山崎高等学校PTA副会長、町田市立山崎中学校校長、町田市立七国山小学校校長、町田消防署忠生出張所長、東京家政学院大学教授、保護司 計8名

2 令和3年度学校運営連絡協議会・評価委員会・防災委員会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和3年6月11日（金）（新型コロナウイルス感染症感染防止のため紙上開催）
令和3年度学校経営計画、令和2年度学校経営報告、令和3年度各分掌・学年の取組について書類を配布の上、アンケートを実施
 - 第2回 令和3年11月5日（金）内部委員6名、協議委員8名
校長報告、各分掌、各学年による報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価アンケートの内容検討、協議今年度の防災教育の取組について
 - 第3回 令和4年3月18日（金）（新型コロナウイルス感染症感染防止のため紙上開催）
令和3年度学校評価アンケートの集計結果について
書類を配布の上、アンケートを実施

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：596人 回収：587人 回収率：98%
 - ・12月 保護者全員 対象：596人 回収：365人 回収率：61%
 - ・12月 教職員 対象：39人 回収：39人 回収率：100%
 - ・12月 地域・住民 対象：200人 回収：21人 回収率：11%
- (3) 主な評価項目
学校運営、授業・教育課程、進路指導、生活指導、学校行事・部活動、学校生活、広報活動、施設・設備、ワークライフバランス等
- (4) 評価結果の概要・分析・考察
 - ・「山高に入学して（させて）良かった」及び「充実した高校生活を送っている」は、生徒が70%弱なのに対し、保護者は80%前後であった。学校行事や部活動が従来通りの形で実施できなかったことが主な要因であり、次年度内容の充実が大きな課題となる。
 - ・「学校は生徒や保護者からの連絡や相談に適切に対応しているは、生徒78%、保護者85%であり、昨年度から上昇した。
 - ・「学校の施設や設備に満足しているか」は生徒が50%であった。校舎の老朽化が指摘される中で、古くてもきれいな学校にしていく姿勢で、校内の美化活動に力点を置くことが求められている。
 - ・「授業の満足度」は年々上昇し、今年度は75%であった。また「習熟度別授業の満足度」も昨年度よりも4%上昇し、78%の生徒が満足していると回答している。一方で、「生徒の家庭学習の時間」は42%の生徒が0時間と回答しており、学校全体で家庭学習の実施に取り組んでいく必要がある。
 - ・「授業規律」「学校のルールやマナーを守っている」「通学のルールやマナーが守られている」「SNSや情報モラルが守られている」はいずれも、生徒は90%以上近い回答をしているが、教員との意識のずれが若干見受けられることが課題である。また、地域から自転車マナーに関しての意見が出ているので、指導を徹底していきたい。

・「進路指導の充実」「個別の進路相談に適切に応じている」はそれぞれ、78%・87%と高い回答率であり、保護者も同様である。

(5) 自由意見

- ・教科書をそのまま教えるのではなく、発展問題など受験にも応用できる内容を教えてもらいたい。
- ・授業でグループワークをもっとやりたい。
- ・大掃除の際に、蛍光灯まわり、扇風機、空調の整備等をしっかりと清掃をしたい。
- ・学年を問わずに使える自習室が欲しい。
- ・図書館をもう少し長く開館してほしい。
- ・高校に入学してから目標に向かって勉強するようになった。
- ・学校行事を充実させてほしい。・体育祭、文化祭を参観させてほしかった。・コロナ禍で行事ができないのが残念。・保護者会のオンライン化を進めてほしい。
- ・担任の先生には大変お世話になりました。よく話を聞いてくださり寄り添った対応をして頂きました。
- ・クラスの雰囲気も良く楽しい学校生活が送れている。
- ・入学させて良かった。周りの子は真面目で勉強している生徒が多い。
- ・校内の美化が行き届いていない。階段や廊下等の清掃をもっと徹底したほうが良い。
- ・学力の差が大きいようなので、苦手な生徒には学力の底上げを、得意な生徒にはさらに学力が向上するような指導をしていただきたい。
- ・担任の先生に、本人の希望する学科の指定校推薦を調べていただき、良い進路の提案を頂けた。
- ・登下校時の自転車のマナーの改善とイヤホンの使用は危ないのでやめてほしい。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・様々な立場から本校の現状を見ていただき、校内からは見えない課題をあぶりだすことができ、次年度に向けての課題が明確になった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

- ・生徒の学校生活の満足度に対する要因について
- ・日常の補習・講習の取り組みについての意識
- ・自転車マナーや情報モラルについての教員と生徒の意識の差について
- ・家庭学習の取り組みについて

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学習指導・進路実現についての取組

- ①分かりやすく工夫があり、生徒の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を向上させるために、説明中心の授業ではなく、双方向型（やりとりのある）の授業、生徒の活動がある授業、習熟度の効果が期待できる授業等を目指し、授業改善を実施していく。
- ②学力の底上げを目指し、進路実現を果たすために、講習や補習を充実させる。
- ③学んだことを定着させるために、家庭での学習時間を伸ばすための工夫を行う。

(2) 行事・部活動についての取組

- ④生徒会や委員会が積極的に行動でき、生徒が主体となった学校行事をつくるために、生徒の充実感や達成感を高めることができる体制を築く。
- ⑤部活動に参加する生徒の数を増やし、チーム力を高め、部活動の活性化をさらに図る。

(3) 学校の決まりについての取組

- ⑥学校全体で挨拶やルールを守る習慣を定着させる。
- ⑦教員同士で指導の差が出ないようにするとともに、生徒会を窓口到校則についての見直しや改善を図る。

(4) 環境整備についての取組

- ⑧トイレの改修工事が終了。校内でできるものは校内で補修する。また校内でできないものは教育委員会へお願いし、更なる校内の環境整備を図る。
- ⑨校内での清掃や片付けを徹底させ、古くてもきれいな校内環境づくりに向けて全校で校内美化に取り組む。

(5) 創立40周年記念等についての取組

- ⑩創立40周年に向けて、教員・生徒・PTA 保護者・同窓会が協力し、創立40周年記念式典（令和4年11月4日（金））の準備を行うとともに、新しい時代の山崎高校の飛躍に向けて、学校への帰属意識を高めていく。
- ⑪保護者、地域、中学生に向けて、やまこう Newsletter、やまこう News Flash、PTA のメール発信等を更に充実させ、情報発信をしていく。

6 その他

- ・昨年度、学校評価アンケートの質問項目を整備し、各項目について生徒・保護者・教員の考えを比べられるようにし、経年変化についても比べられるようにした。学校評価アンケート結果の概要を、生徒・保護者にもきちんとフィードバックし、PDCA マネジメントサイクルが機能するようにした。